

令和4年4月1日から



総務省

公衆電話の設置基準が 変わります

公衆電話はユニバーサルサービスとして
電話を使うみなさんに支えられています

災害時に避難所などで使える電話が ユニバーサルサービスになります

避難所等に設置されている災害時用公衆電話の維持費用を
みんなで支えることで、災害時の通信手段を確保するよ。

みんな知ってる？
災害時用公衆電話



学校の体育館など災害時に
避難所になる場所に、**災害時
だけ利用できる公衆電話**が
あるんだ。

無料で利用できるから災害時の
備えとして知っておいてね。



具体的な避難所の場所や設置状況は、お住まいの自治体にご確認ください。

一般の公衆電話が一部撤去されます

公衆電話は、携帯電話の普及などにより利用が減少
しているから、ユニバーサルサービスとして最低限設置が
必要な台数を約三分の一に減らすことで、その分の費用を
災害時用公衆電話の維持に使っていくんだ。

これからの災害に備えた仕組みに変わっていくんだね。

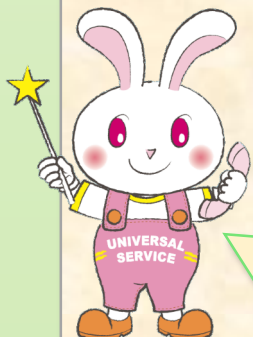
Q 近くの公衆電話がとつぜん撤去されちゃうの？

A 撤去対象になる公衆電話は、周辺の設置状況やアクセスのしやすさ
などを基準に決められるんだ。撤去が決まると貼紙などでお知らせ
されるよ！ 公衆電話を設置しているNTTのHPでも設置場所や
撤去状況を確認できるから、チェックしてみてね！

📍 NTT東日本・西日本HP: 「NTT東日本(西日本) 公衆電話」で検索！

NTT東日本: <https://www.ntt-east.co.jp/ptd/>

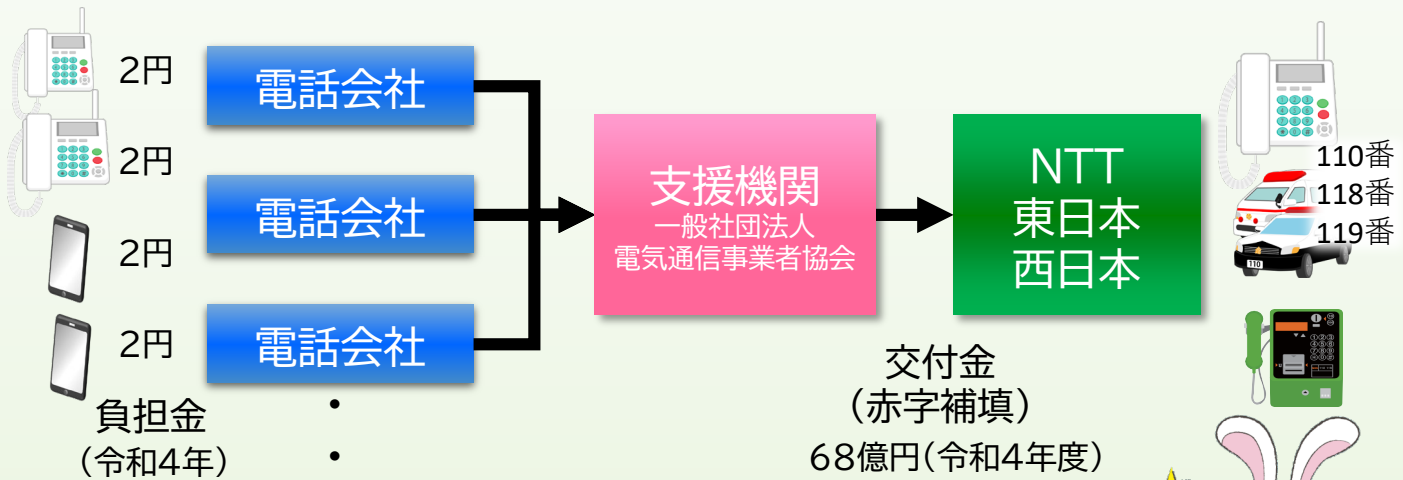
NTT西日本: <https://www.ntt-west.co.jp/ptd/>



電話のユニバーサルサービス制度とは

日本全国で電話の提供が義務付けられているNTT東日本・西日本に対し、電気通信事業法によってその費用の一部を補填する制度です。

※補填対象となる電話サービス:加入電話、緊急通報、公衆電話



<Q&A>

Q 交付金は誰が負担しているの？

A 電話のユニバーサルサービス制度は、各電話会社の負担金により支えられています。

この負担金は、番号単価^(※)×契約番号数で決められ、多くの電話会社は、これらに要する費用を「ユニバーサルサービス料」として利用者みなさんに負担いただいています。 ※電話番号1番号当たりの負担額

Q 番号単価はどうやって決めているの？

A 総務大臣の指定を受けた支援機関が、総務大臣の認可を受けて補填に必要な総額を算定し、全電話番号(固定・携帯)数で割ることで、1番号あたりの単価を計算しています。(令和4年は毎月2円)

Q どのくらい補填しているの？

A 電話サービスの提供によりNTT東西に赤字が生じた場合に、その費用の一部を補填することとされており、令和4年度の補填額は68億円になります。

Q 今回の設置基準の変更はどうやって決まったの？

A 公衆電話の利用実態や、災害時の通信確保の重要性、利用者アンケート結果などを踏まえ検討を行い、意見募集を経て決定されました。関連する規則は令和4年4月1日から施行されます。



👉 より詳しい情報はこちら

総務省HP ユニバーサルサービス

https://www.soumu.go.jp/main_sosiki/joho_tsusin/universalservice/index.html

基礎的電気通信役務支援機関(一般社団法人電気通信事業者協会)

<https://www.tca.or.jp/universalservice/>

